



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月15日

上場会社名 シルバーエッグ・テクノロジー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3961 URL <https://www.silveregg.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）トーマス・アクイナス・フォーリー
問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）フォーリー 淳子 TEL 06 (6386) 1931
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第1四半期の業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第1四半期	274	△12.4	△9	—	△9	—	△8	—
2024年12月期第1四半期	312	△1.7	32	12.9	32	13.1	21	10.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△2.91	—
2024年12月期第1四半期	7.23	7.22

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第1四半期	1,488	1,413	94.4
2024年12月期	1,521	1,420	92.9

（参考）自己資本 2025年12月期第1四半期 1,404百万円 2024年12月期 1,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—				
2025年12月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,176	△4.3	△30	—	△30	—	△24	—	△8.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	2,976,942株	2024年12月期	2,976,942株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	85株	2024年12月期	85株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	2,976,857株	2024年12月期 1 Q	2,966,888株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに公開する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間において、国内経済は地政学的なリスクやインフレの影響による不透明感が残るものの、大企業の設備投資などに支えられ、緩やかな回復基調にあります。国内の情報・通信サービス市場は、近年の企業業績の堅調な推移と、深刻化する人手不足という社会的な背景が複合的に作用し、企業の設備投資意欲を力強く押し上げる状況にあります。このような状況下において、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進や、急速な進化を遂げる生成AI技術の活用を目的とした新たな需要が顕著に活発化しています。このような状況下、AI分野で事業を展開する当社の役割は、ますます重要性を増しています。

当社は、2025年3月に5カ年の中期経営計画とともに、長期ビジョンとして「データとAIの融合で業界を変革するAIマッチングソリューションのリーディングカンパニー」を目指すことを発表いたしました。これは、AIの急速な進化に伴い増加が見込まれるデータとAIの融合ニーズに対応し、将来の多様なデジタルサービスを支える不可欠な存在となることを意図するものです。

長期ビジョンの実現に向けた中期経営計画では、既存事業の深化・拡張と新規事業の創出・拡大により事業基盤の再構築と発展を図ることを掲げております。当社を取り巻く経営環境は急速に変化しておりますが、事業環境や顧客ニーズの変化に柔軟に対応することで、引き続き強い競争力を発揮できているものと考えております。

2025年度「AIマッチングソリューション基盤の拡張」を主要な経営方針として掲げており、当第1四半期累計期間における取り組み事例は以下のとおりです。

販売戦略の一環として推進しているパートナー連携につきまして、2025年2月にトライベック株式会社のマーケティングプラットフォーム「HIRAMEKI XD（ヒラメキクロスディー）」のECサイト向けプラン「XD.COMMERCE」に対し、当社のAIリアルタイム・レコメンドメールサービス「レコガゾウ」の提供を開始いたしました。

「HIRAMEKI XD」は、EC事業者に対し、メールマガジンや1to1メール等への商品レコメンド機能追加のニーズを有しており、パーソナライズ機能を強みとする当社の「レコガゾウ」が採用される運びとなりました。本連携により、EC事業者の顧客エンゲージメント向上および売上拡大に貢献するとともに、販路拡大による新規顧客獲得を促進します。販売戦略の一環として、パートナー連携強化を推進しております。

2025年3月には、EC事業者の売上向上のためのプレミアムサポートサービス「シルバーエッグ・サービスプラス」の提供開始を発表いたしました。これは、通常のサポートに加えてAIレコメンドエンジンのデータを当社の専門アナリストが多角的に分析し、改善策の提案を行うことにより、ECビジネスの顧客生涯価値（LTV）向上を支援するものです。また、「アイジェント・レコメンダー」の性能を常に最適化し、お客様のビジネスに貢献し続けるための最新AI技術を用いたアルゴリズムや、ビジネス成長を加速するオプション機能の一部を無償提供します。

新領域の事業においては、ダイレクトリクルーティング分野のAIエージェントサービス「レコタレント」の正式リリースに向けた開発を進めております。また、建設会社の課題解決を目的としたDXシステム開発についても継続開発を行っており、2025年3月に納品いたしました。

当第1四半期累計期間の営業収益につきましては274,051千円（前年同期比12.4%減）、営業損失は9,643千円（前年同期営業利益32,719千円）、経常損失は9,149千円（前年同期経常利益32,796千円）、四半期純損失は8,662千円（前年同期四半期純利益21,462千円）となりました。

なお、当社は、レコメンデーションサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ32,886千円減少し、1,488,638千円となりました。

主な内訳は、現金及び預金の増加13,860千円があった一方で、売掛金の減少26,294千円及び投資その他の資産の減少14,678千円があったこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ26,563千円減少し、74,722千円となりました。

主な内訳は、未払金の減少16,120千円及び未払法人税等の減少14,053千円があったこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ6,323千円減少し、1,413,915千円となりました。

主な内訳は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少8,662千円があったこと等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,179,431	1,193,291
売掛金	180,289	153,995
前払費用	42,337	42,416
その他	—	664
貸倒引当金	△189	△167
流動資産合計	1,401,869	1,390,200
固定資産		
有形固定資産	21,721	21,134
無形固定資産	35,969	30,017
投資その他の資産	61,965	47,286
固定資産合計	119,656	98,438
資産合計	1,521,525	1,488,638
負債の部		
流動負債		
未払金	62,516	46,396
未払費用	7,002	4,398
未払法人税等	15,945	1,891
未払消費税等	4,987	12,817
資産除去債務	3,670	—
その他	7,165	9,219
流動負債合計	101,286	74,722
負債合計	101,286	74,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	287,772	287,772
資本剰余金	272,535	272,535
利益剰余金	853,107	844,445
自己株式	△193	△193
株主資本合計	1,413,221	1,404,558
新株予約権	7,017	9,356
純資産合計	1,420,239	1,413,915
負債純資産合計	1,521,525	1,488,638

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
営業収益	312,922	274,051
営業費用	280,202	283,694
営業利益又は営業損失(△)	32,719	△9,643
営業外収益		
受取利息	3	493
講演料等収入	100	—
営業外収益合計	103	493
営業外費用		
為替差損	26	—
営業外費用合計	26	—
経常利益又は経常損失(△)	32,796	△9,149
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	32,796	△9,149
法人税、住民税及び事業税	4,264	253
法人税等調整額	7,069	△740
法人税等合計	11,333	△487
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,462	△8,662

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
減価償却費	6,944千円	6,539千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、レコメンデーションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。